

警察庁によると、平成23年の1年間に起きた自転車関連事故は14万4018件で、全交通事故の20・8%を占め、うち6333件が死亡事故でした。この10年間では、事故件数、死亡件数とも漸減傾向にあります
が、件数自体が極めて大きい数字であることに変わりはありません。

注目すべき点の一つは全交通事故に占める割合で、平成13年に18・5%だったものが、その後毎年のように増加し

自転車マナーの向上

ています。また、自転車対歩行者の事故件数も10年前の約1・5倍です。

こうした実態の背景には無謀走行の自転車の増加があるようです。実際、摘発された悪質な自転車の交通違反

は前年比5割増の3956件に上っています。内

訳は制動装置不良（ブレーキ無しなど）1277件、信号無視1113件などです。自転車の運転マナーの向上が改めて問われています。

交通安全10メモ